



Chocolat 通信

2013年 5月号

K'mio talks

「ショコラ通信のこと」

今号から編集部が変わりました。今までやって下さっていた佐々木さん、小久保さんお疲れ様でした！

こういう編集作業は私も出版社でアルバイトをしていたことがあるので、その大変さはよく分かりますし、そしてせっかく一生懸命作っても、さっと流し読みされて、何となくその労力を使ったことを空しく感じる事もあったりもします。しかも合唱団のこういう通信紙は別に仕事でもありませんし、作る方にとって作るメリットがある、と感じにくい物です・・・ですので、皆さんせっかく忙しい中を多大な労力を使って作って下さるので、隅々まで目を通して下さいね！！

(Noboru Kamio)

佐々木 団長の 断腸の思い

「音程を大切に」

最近、練習に際して特に考えることは音程の大切さです。歌の4要素はメロディ・リズム・強弱・音色だそうですが、メロディを形作る音程は特に重要だと思います。自分の歌を録音してみると、出来ていると思っている音程(ピッチ)がかなり不安定なことに気付きます。たとえ綺麗な響きと豊かな音量で感情込めて歌ってもピッチが狂えば台無しになってしまうのが音楽の怖さです。逆にピッチが正確なだけでも歌は綺麗に聞こえます。ピッチが正確に出来ている時は、結果として呼吸、姿勢、口の形、体の力の入れ方、響きが全てバランス良く整っており、ピッチがずれている時は何かバランスがくずれている時です。正確なピッチで歌う事は実はそんなに簡単なことではありませんが、常に意識して練習していきたいものです。

(佐々木 晋)



10周年コンサートまであと365日!

パトリ真語

TENOR 佐々木 晋

テノールのメンバーが一名欠け、バランスが変わりますが前向きに頑張っていきたいと思います。断腸の思いで音程について書きましたが、テノールも低めになる場合がありますので注意して練習しましょう。特に高音の箇所や内声の音がはまりにくい箇所です。まずは音をしっかり把握して、歌い出す前頭の中で自然に音が鳴るようになる事が理想です。

SOPRANO 阿部 紀世

ショコラも初めてフォーレのラテン語に挑戦します。読み方とアクセント、そしてその意味が解説されているので各自楽譜に書き込みをしましょう。もちろん巻き舌のできる人はぜひ！練習時には先生の曲についての説明もありますので十二分に耳を傾けましょう。静かな曲の中にもおごそかに畏敬の念をもって、特にソプラノはテナーとのバランスを考え聴き合って歌い上げましょう。ブレスの取り方は言葉の意味から切っけはいけない所もありますので、特に注意しましょう。

ALTO 金成 素子

アルトに新しいメンバーが増えて、嬉しいですね。皆で心をそろえて、アルトラしい音色と響きを作り上げましょう。メロディの響きを際立たせる美しいハーモニーを担うパートとして、田辺先生のボイストレーニングでよく言われる‘深い響き’を大切にされた発声が重要になってきますね。人数も多くなってきたので音量よりも声質を大切に、ていねいに歌っていけたらと思います。特にフォーレの楽曲は響きを楽しみながら歌いましょう。

BASS 古川 智久

来年の10周年コンサートも、7月のチャリティコンサートも、場所が教会ということで、フォーレの曲を歌うにはこれ以上ない環境だと感じています。今までの曲以上に、ハーモニーを美しく響かせることに気を配っていきましょう。また、日本語でないぶん、しっかり歌詞を頭に入れて演奏しないと観客の人たちに伝わらないと思うので、歌いながら少しずつ覚えていきましょう。バスは相変わらず少人数ですが、ハーモニーを支えられるよう頑張ります！

通信担当より

みなさんこんばんは！新しく担当になりました金成・古川です。通信は隔月で発行していきます。不慣れで不手際も多いと思いますがよろしくお願いいいたします。

さて、ショコラ結成10年の節目を迎えるにあたり、次号から「ショコラと私」というテーマで、皆さまに原稿依頼をしていきたいと企画しております。ショコラに入団したいきさつや、ショコラに対する思い、ショコラへの希望など、内容はそれぞれの団員におまかせします。毎回4名ずつほど載せていく予定ですので、原稿よろしくお願いいいたします。